

2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ文化・社会科学特殊研究A	1年次春学期 (1セメスター)	講義 ※演習含む	2	近藤 良享
<b>授業概要</b>				
<p>今日的なスポーツ健康科学、特に人文社会科学系に関する諸問題に関する知識を学び、問題点の把握や解決の方向性を探究する。また、各自の研究課題との関連性を発見することによってより自身の課題を深化させる。さらには、スポーツ、体育、健康科学の諸研究が現代社会にどのような貢献をしているかについて理解する。</p> <p>授業方法は、人文社会科学系の諸問題に関する講義を基に、特定問題のディベートを展開し、多種多様な視点、観点からの「問題の見え方」を修得する。</p>				
<b>授業目標(到達目標)</b>				
<p>履修者は、本授業で議論されるスポーツ、体育、健康科学の諸問題について、あるべき姿を原理的、倫理的に考察し、その理解を深める(スポーツ哲学、倫理的視座からのアプローチ)と共に、スポーツ健康科学の研究者としての望ましい価値観が形成できる。具体的には、①現在のスポーツ、体育、健康科学の問題点が批判的に分析できる。②自分が専攻する研究分野と諸問題との関連が説明できる。③諸問題の賛否論に基づいて価値判断ができる。</p>				
<b>成績評価方法・基準</b>				
前半の毎回の授業への取り組み、後半の研究課題の紹介、関連事項などの発表準備、プレゼンテーション、討議内容を総合的に評価する(100%)。				
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>				
<p>スポーツ倫理、近藤良享、不昧堂出版、ISBN978-48293-0491-4          スポーツ倫理の探求、近藤編著、大修館書店、ISBN978-4-469-26549-7          スポーツ倫理を問う、友添、近藤著、大修館書店、ISBN978-4-469-26453-1</p>				
<b>授業計画</b>				
	<b>項目・内容</b>			
1	オリエンテーション:授業目標、方法、評価方法などの説明、プレゼンテーション課題の選定			
2	体育・スポーツの概念論(1):体育概念、戦前・戦中・戦後の体育論、目的に規定される体育教育			
3	体育・スポーツの概念論(2):スポーツ概念、構成要素:身体性、競争性、組織(制度)制、遊戯性			
4	応用倫理学としてのスポーツ倫理学:応用倫理学、功利主義、義務論、徳倫理学、正義論			
5	スポーツとエンハンスメント論(1):エンハンスメント、自己決定論、パターナリズム			
6	スポーツとエンハンスメント論(2):ドーピング、生命倫理、エンハンスメント社会			
7	スポーツと他者決定論:性別確認検査、競技参加資格、人権問題			
8	スポーツとジェンダー論:性別役割分担の思想、ジェンダー、性の多様性			
9	スポーツと公平・公正:フェアプレイ、価値の多様性、ハンディキャップ制			
10	オリンピックと身体・社会:オリンピズム、疎外された身体、オリンピック・ムーブメント、世界平和			
11	スポーツ指導と体罰・暴力:体罰概念、学校教育法第11条、人権侵害			
12	自分野と異分野の理解(1):各自の先端研究論文の紹介・説明と人文社会学系との関連についてのプレゼンテーション(1)			
13	自分野と異分野の理解(2):各自の先端研究論文の紹介・説明と人文社会学系との関連についてのプレゼンテーション(2)			
14	自分野と異分野の理解(3):各自の先端研究論文の紹介・説明と人文社会学系との関連についてのプレゼンテーション(3)			
15	本講義の総括:まとめ、評価			
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>				
特に、前半の毎時のテーマに関連した、新聞、雑誌、研究論文などを読み、問題意識を持って授業に臨んでほしい。特にテキスト『スポーツ倫理』は本講義の基礎となっているので、読破してから受講してほしい。				